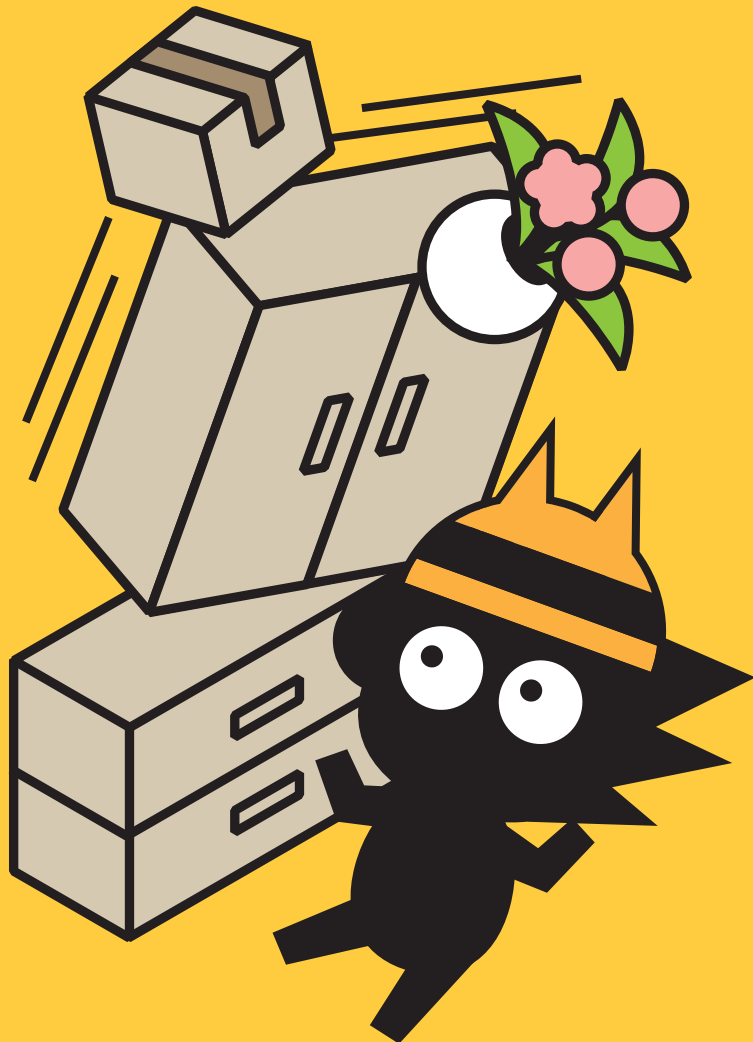


いま
今すぐ
対策!

地震に備えた

命を守る家具の
配置換えや
転倒防止を!

阪神・淡路大震災では、6400人を超える人が亡くなり、その死亡原因の約8割が家屋や家具の転倒などによる窒息死・圧死でした。また、大阪北部地震においては、本棚の転倒により死者が発生しました。今後発生が予想される有馬-高槻断層帯に起因する地震では、最大震度7の揺れが起こる可能性があります。本棚や電化製品などが転倒・落下する恐れがあります。明日来るかもしれない地震に備え、命を守る対策を今すぐ始めましょう。



1 家具の配置を見直してください



2 家具の固定をしてください

